

議会報告会・意見聴取会の結果報告

10月3日から5日の三日間開催しました「議会報告会・意見聴取会」にご参加いただきありがとうございました。

今年度の報告会は、町長の目指す「日本一住みやすいまちづくり」に向けて、これからの大台町の未来について、みなさんのご意見をお聞きかせいただき、少しでも話しやすい雰囲気にしようと「みなさんと車座で語ろう会」として開催させていただきました。

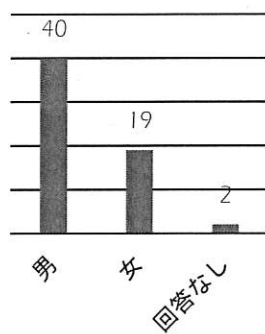
結果として、テーマが抽象的でわかりづらかったとのご意見もいただきました。若い人の参加が少ないことも含め、今後の参考とし、議会報告会を少しでもより良いものにしていきたいと思っていますので、ご理解をお願い申し上げます。

皆さま方からいただきました主なご意見につきまして、とりまとめましたのでご報告させていただきます。

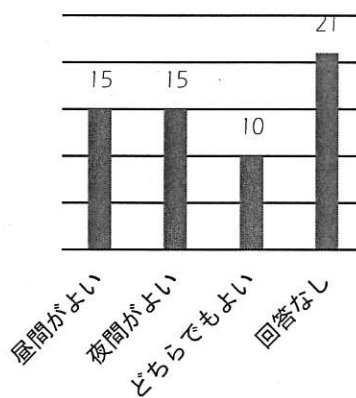
(1) 参加状況について

今年度は6地区で開催し、総参加人数は62名（アンケート回答者61名）でした。（昨年は2地区で13名）

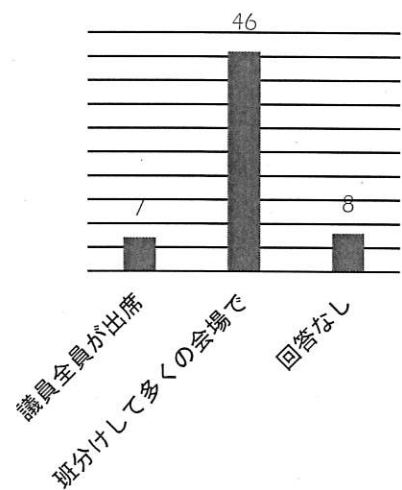
男女別参加者数



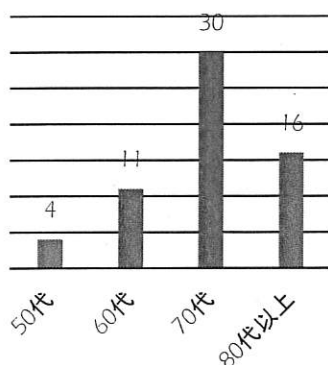
開催時間帯



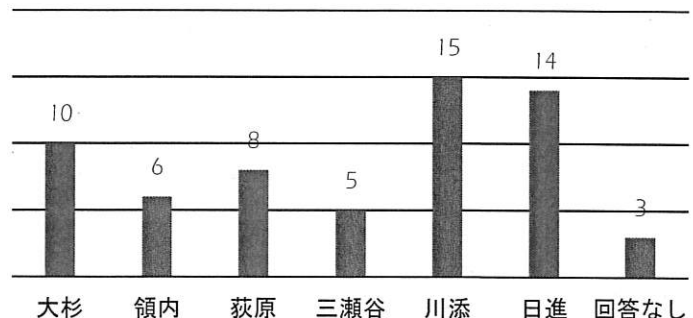
会場の形態



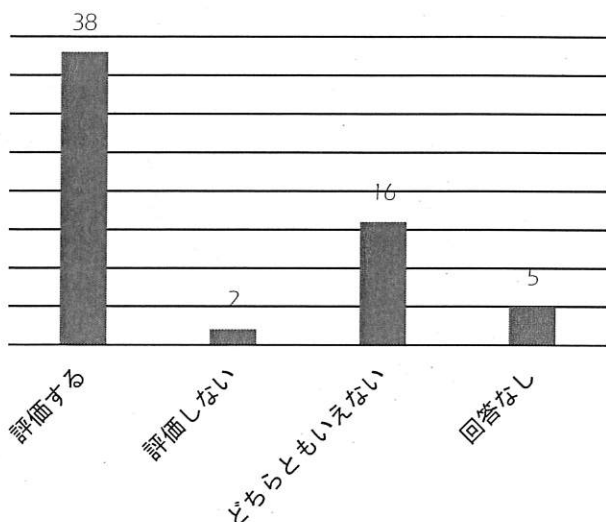
年代別参加者数



地区別参加者数



全体評価について



参加者アンケートの集計は、各グラフのとおりですが、開催地区により、参加状況や開催時間帯などに偏りもみられました。

今回の班分けや車座に対しては概ね好評であり、全体評価も一定の評価をいただいたと考えますが、工夫を重ね、開かれた議会を目指し、議会報告会に関心を持っていただけるよう、努力してまいりますので、皆さまのご理解をお願い申し上げます。

(2) アンケート自由記載欄のご意見について

- 車座で開催しましたが、発言しやすいなど総じて好評の意見が多くありました。一方、気軽に話し合える時間がほしいとの声もいただきました。
- マイクが聞きづらかった。
機材や会場など出来るだけ配慮しましたが、限られた中での設営になってしまいました。今後はできるだけ配慮に心掛けてまいります。
- 今回の「日本一住みやすいまちづくり」は、わかりにくい。大きすぎる。
大森町政の公約であり、それに向けて様々なご意見を伺う趣旨でありましたが、抽象的であったかもわかりません。（昨年は、テーマがあると参加しにくいのご意見もありました。）テーマの設定については、今後しっかりと考えていきたいと思えます。
- 参加者が少ない。特に若い人がすくない。
参加者が少ないことは、これまでの議会報告会の課題であります。会場、時間、テーマなど議員で協議し、皆さんとの対話を通じて距離感の近い議会報告会になるよう努力してまいります。
- 奥伊勢フォレストピアへの誘客のためのイベントの実施を。
議会としても大事なことと考えますので、町全体で取り組むことを機会を見つけて意見を出していきたいと思えます。
- 大台町を歩いて町内を知ってほしい。
議会としては、各委員会の調査活動の中で福祉施設や農業者との意見交換など取り組んでいますが、一部に限られておりますことから出前懇談会の制度もご利用いただき皆さんと意見交換できる場に出向いていきたいと思えます。町内の実情を知ることは大切なことであり、日々の議員活動の中でも地域の声を拾い上げる努力をしてまいります。

いただいたご意見・ご提言	議会の対応
<p>町長が言う「日本一住みやすい町づくり」とは具体的に何を指す町づくりなのか。予算の用途はついているのか。</p>	<p>町長公約であり、日本一住みやすい町づくりに向け、 ①豊かな自然を次世代に ②地域公共交通の「新たな仕組みづくり」 ③農業・林業との連携による新たな観光・商工振興 ④若者の移住定住促進 ⑤健康づくりの推進と予防医療の充実 ⑥消防・防災の機能強化（消防団員の待遇改善） ⑦未来の子どもたちにつなげる行財政改革 の7つの施策を掲げています。 事業予算については予算決算常任委員会等で予算が有効に活用されるよう審査しています。</p>
<p>工業団地や住宅団地の造成の話はどうなっているのか。企業誘致に係る調査を行なったはずであるが、その後どうなったのか。フィードバックがない。</p>	<p>町は、令和2年度に産業用適地調査を実施。11箇所の候補地を選定し、一か所に絞り込んでいますが、地形的に造成工事費に多額の予算を要することで、現在慎重に検討している状況です。場所については、土地にかかわることであり公表されていませんが、時期を見て状況報告を行うよう要請していきます。</p>
<p>小学校の統廃合の前に、オンラインで他の学校と繋ぐなど子どもたちのためにできることがあるのではないか。</p>	<p>学校現場や教育委員会の意見を聴き、どのようなことができるか全国の先進事例等を参考にして、取り組めるものがあれば提案していきます。</p>
<p>外出支援策としてタクシー券が均一に配布されているが、病院や商業施設までの距離を考慮して対応すべきではないか。また、町等の実施する行事に参加したくても交通手段がない。交通手段の確保を心がけて企画すべきである。</p>	<p>高齢者等外出支援助成事業のタクシー券については、距離を考慮したものとすよう要望していきます。 また行事を主催する際は、参加者の交通手段について配慮するよう要請していきます。</p>
<p>AEDは公共施設等に多く設置されているが、夜間等に必要となった時には施錠されている等の理由ですぐに使用できないので、屋外への設置を積極的に推進すべきである。</p>	<p>町は、盗難防止等のための施錠の必要性等もあり、屋外への設置は難しい見解ですが、他市町での対応を調査するなど検討することを要請していきます。</p>
<p>公共施設個別計画で施設の縮小が記されているが、取り壊すのではなく、まず町内外の個人も含めた希望者（起業したい人等）に無償で貸し出すなどの有効活用方法を検討していくべきである。また、そのための情報発信をもっと充実させる必要がある。</p>	<p>町は、用途廃止した財産については、売却や貸付などの方法で、民間による再活用等を公募するなど行なっております。結果として応募がない状況を踏まえて、取壊しを行なっていますが、公募などの情報発信をもっと充実していくよう要請していきます。 また、こうした情報の町民への説明にも配慮するよう申し入れます。</p>
<p>空き家を活用するなど、高齢者が共同で生活できる施設を。</p>	<p>空き家の活用と高齢者の生活の場を結び付けた提案であり、町の空家対策の取組の中でも検討するよう申し入れるとともに、議会としては、空家を高齢者のために有効活用している先進事例等を調査し、空き家の活用に向けて検討していきます。</p>
<p>観光DMO法人の「観光地域づくり」の取組やその成果が見えてこない。観光施策は1町単独ではなく広域連携で進める方が効果的ではないか。また、観光施策には、地元の消費拡大につながるような戦略も必要である。</p>	<p>今年度から大台町商工会が、(株)Verde大台ツーリズムより引き継ぐ形でDMO候補法人に登録されましたが、「観光地域づくり」の取組やその成果が見えないのはご指摘のとおりです。 観光DMO法人の事業実施に資源（人材、予算等）に対する課題があると考えますので、組織体制の充実を求め、デジタル田園都市国家構想などとも連動するよう提案していきます。</p>
<p>町道の側溝清掃や草刈りを地域住民で行なっているが、高齢化に伴い実施が難しくなっている状況である。町の管理する道路なので、町で予算を確保して実施すべきではないか。また、樹木（竹）の幹・枝等が張り出している町道も多いので、伐採等をすべきではないか。</p>	<p>町道の除草作業は、各地区と業務委託契約をし、高齢化等により困難なところは建設業者をお願いしている状況です。予算も限られることから回数も少なく草が繁茂するなどありますことをご理解ください。樹木など交通に危険が及ぶなどの場合は、建設課等にご連絡いただければと思います。 なお、国道422や県道については県の対応となりますので、建設課等にご連絡いただければ県に伝えてもらいます。</p>

いただいたご意見・ご提言	議会の対応
<p>限界集落だからこそ子育て世帯の移住を促進し、地域住民も移住者・後継者をフォローしていくことが大切ではないか。これからを生きる子どもたちの意見を尊重して政策の立案、事業の実施をしていくべき。</p>	<p>多くの世代、特に若い人の意見を聞けるような取組は重要なことだと思います。議会としても意見聴取会の実施方法も含めて検討していきます。 また町には、施策の企画立案の際には多様な意見を聴取する方法を検討することを要請していきます。</p>
<p>国道422号線を紀北町まで延伸することで関係人口が増えるという調査研究結果がある。</p>	<p>国道422号、池坂峠（大台町と紀北町）については、通行不能区間となっており、三重県・国に毎年路線の重要性、早期整備の要望を町では行なっていますが、今後は議会も一緒になって要望することも大切なことだと考えています。</p>
<p>現在、進められている「道の駅環境整備」は、どのようなものができるのか完成予想図などの表示がない。ガラス張りの行政であってほしい。議会としても示してほしい。</p>	<p>「道の駅環境整備」についての完成予想図については、担当課に申し入れました。 また、事業内容の情報発信の仕方については、町、議会ともども積極的な情報発信に努めてまいります。</p>
<p>文化財がばらばらに保管されている。郷土愛を持つためにも整理し保管されるべき。</p>	<p>文化財、民芸品などの整理は後世に引き継いでいく上でも重要なことであり、これまで議会も指摘してきました。町は認識しておりますが、なかなか進んでいない状況です。今後、スピード感を持って対応するよう要望していきます。</p>
<p>集会所が各区に払い下げになる。有効活用の方法を知りたい。</p>	<p>町は、令和4年度から順に各自治会へ集会所等の譲与手続きを進めております。譲与後の施設の活用方法については、これまでの集会所としての使用に加え、地域住民のための様々な体験教室等への貸館や民間事業者への貸館等自治会の考え方で自由に活用することが可能としています。 また、優良事例については、集会所を縁側交流サロン、子育てサロンとして開放し、誰もが気軽に立ち寄り、お茶や世間話を行えるような場の提供や自治会支え合いサポーターの当番が常駐し対応している活動等が行われているなどの事例があるようです。 議会としては、町内外の集会所の有効活用の事例収集に努めるとともに、公民館が地域の交流拠点となるよう支援していきます。</p>
<p>川添小学校の統廃合問題があることを知らなかった。住民には経過が知らされていない。詳しく情報を提供してほしい。</p>	<p>町の見解は以下のとおりです。 令和2年度、3年度に保護者の方とのお話し合いを進めてきましたが、保護者の皆様のご意見と町の方針とは隔たりがあり、今後の進め方については、現時点ではっきりと申し上げることができない状況です。方向性が見いだせるまで時間が必要と考えており、ある程度の方向性が見えてまいりましたら、住民の方にも情報提供をさせていただくことを考えています。 議会としては、小・中学校の統廃合は、町民全員に関わる問題であり、もっと多くの方に知ってもらうことが大事なことと考えています。適時的確に情報発信するように要請していきます。</p>
<p>各地域の公民館をZoomでつなぐなどして、住民の集える場を確保してほしい。</p>	<p>公民館（集会所）を住民の集える場として、他地区とZoom（オンライン）で結び交流を図ることは、新たな活用策の一つだと考えますが、一定の環境整備が必要となるなど課題もあります。 DX化の動きの中では検討の一つであると考えますが、地域の積極的な取組も必要であります。町の考えも聞きながら、地域も参画する中で町としっかり議論していきたいと思っております。</p>
<p>奥伊勢フォレストピアのキャンプ場付近のトイレの使用を、キャンプ場利用者だけに限定しているが、一般開放するように要請してもらいたい。</p>	<p>ご指摘の箇所付近には、公衆用トイレがあります。 利用者にわかりづらいかも知れませんが、案内看板の設置等、わかりやすい利用について要望していきます。</p>
<p>旧報徳病院の跡地に、トレーニング施設などの健康増進施設を整備してほしい。</p>	<p>現在、B & G海洋センターにトレーニングルームがありますので、費用対効果も含めた検討が必要だと考えます。旧報徳病院の跡地が、今後、有効に利用されるよう町と一緒に協議していきます。</p>
<p>墓地等に設置されている水道は、ほとんど利用しなくても、毎月10㎡までの基本料金が賦課されて負担になっている。半公共的な施設の水道は、無料又は使用量に見合った支払いとなるように基本料金を見直してもらいたい。</p>	<p>水道事業は、独立採算が原則となる公営企業会計であり、平成30年度より、公営企業への移行に伴い、水道料金を免除していた施設（集会所・公園・墓地等）も受益者負担の原則により、水道料金を徴収することとなっていますので、ご理解をお願いします。 今後の人口減少等を考慮して、公共性の高い墓地など少量の使用に際し実使用量に見合った料金設定ができないか要請していきます。</p>

いただいたご意見・ご提言	議会の対応
<p>迷岳や古ヶ丸などの登山道には、ほとんど案内標識がない状況なので、登山客の誘客のためもっと案内標識を設置してほしい。</p>	<p>町や観光協会が登山客などの誘客に力を入れ、積極的に案内している限り、案内板の整備に向けて要望していきます。 また、観光名所として登山道整備についても今後の課題と捉え、計画的な整備を要望していきます。</p>
<p>なり手不足の民生委員であるが、高齢化により助けを受けたい年代の人が他者を助けている状況。民生委員が高齢者への弁当配付事業を担っているが、民生委員として純粋な活動に限ってあげてほしい。</p>	<p>高齢化、人口減少が相まって民生委員のなり手不足が懸念される中、民生委員の日々の活動に敬意を表します。 ご意見のありました問題については、民生委員の本来の役割とサービスで行なってもらっている役割を整理することも必要なことと考えますが、サービスの部分をどのように補完していくのかということが課題となってきます。地域の実情もあると思いますので、町、民生委員児童委員協議会にお伝えします。</p>